

外資系企業における化学物質管理の状況

ELE-2

阿部 悠子

スリーエム ジャパン プロダクツ株式会社

1. はじめに

スリーエム ジャパン プロダクツ (株) 山形事業所は、アメリカのミネソタ州に本社を置く、3M company の関連会社で、3Mジャパングループはもとより、グローバルの「スーパーハブ」として海外の3M各社へも製品を提供している国内最大の製造拠点である。安全で衛生的な生産環境づくりを欠かさないため、3Mでは、全世界共通の「安全衛生管理システム」を20年以上にわたり構築・運用し続けている。この管理システムでは、米国および各国で適用される規制・規格を満足するように求めており、3Mジャパングループでも、このグローバル共通の管理システムと国内法令を取り入れた形で運用を行い、安全で衛生的な生産環境の維持に努めている。

2. 3Mの化学物質管理

3Mの安全衛生管理システムにおける化学物質管理として、製造事業所に対しては化学物質の暴露と管理、危険周知、呼吸用保護具、汚染予防の換気、安全衛生のトレーニングなどの要求事項がプログラムとして明文化されている。国内法令と重複する部分もあるが、アメリカで行われている個人ばく露測定や呼吸用保護具を使用する作業員への医学的審査、化学物質に関する危険周知や呼吸用保護具に関しては年次ごとにトレーニングを行うなど、国内法令の枠にとどまらない要求事項も多く、3Mの製造事業所における化学物質管理の根幹を担っている。

3. 山形事業所の化学物質管理

山形事業所では、多種類の化学物質を取り扱っているため、労働安全衛生法の有機溶剤中毒予防規則や特定化学物質障害予防規則の対象物質ではない化学物質を3Mのシステムを利用しながら測定やリスクアセスメントを行っている。具体的には、年初に計画した特定のエリア・工程における化学物質の個人ばく露測定を複数サンプリングし、統計ソフトによって算出された値をACGIHやAIHA、もしくは各国の許容値と比較して対策の要不要を検討している。この結果を踏まえ、呼吸用保護具着用や排気装置の見直しを行ったり、資料に入れてトレーニングで周知するなどして、化学物質によるリスクを下げるとともに各作業員の化学物質に対する認識を上げるための活動を行っている。

【略歴】

2006年山形スリーエム株式会社入社/工務部安全衛生環境グループに配属 現在に至る。
入社から産業衛生を主担当としているが、現在は安全・防災・環境についても幅広く担当している。